

軍事極秘

三月一日空襲詳報

昭和二十年三月
奄美守備隊

24193

148

一 敵機來襲前ノ状況

守備隊ハ左記情報ヲ綜合シ南西諸島方面ニ空襲ノ算大ナルヲ顧慮シ二月二十八日一二
ニ口奄美全地區ニ警戒警報(丙號戰備)ヲ下令シ邀撃態勢ヲ強化ス

記

イ 厦門情報 二十日以後在支及太平洋方面米空軍ハ本土及南西諸島方面ノ爆撃ヲ企圖シア
ルモノ如シ

ロ 二月二十七日日機一機小録南西ヨリ侵入那霸入港中ノ船團ヲ攻撃沖繩本島全般ヲ偵察
南方ニ脱去

ハ 二月二十八日口頃ヨリ日機數機沖繩本島ヲ綿密ニ偵察中

ニ 大東島宮古島方面ニ連日哨戒機ノ來襲アリ

ホ 硫黃島方面ニ依然有力ナル機動艦隊アリテ其動向極メテ警戒ノ要アリ

ニ 各部隊ノ状況

イ 警戒警報下令セラレルヤ對空警戒部隊ヲ増強スルト夫ニ極力軍需品ノ分散秘匿
ニ努メ持テ航空船舶関係部隊ハ各施設兵器器材ノ偽裝迷彩掩護施設ノ發
化ニ努メ敵機ノ銃爆撃ニ對スル損害ノ絶無ニ努カセリ

二月二十八日 德之島 德艦隊南方回航第五〇一船團 帆船十隻 本島海
峽古仁屋三六同 カタタカ山船通 大亞丸外四隻ノ汽船入港シアリタリ

三 天候氣象ノ概要

一 德之島

午前 晴 雲量一〇 雲高一〇〇米 視程二〇料 南東風三米
午後 晴 雲量一〇 雲高一〇〇米 視程二〇料 南東風三米

二 離島統不徳之島ト向テナリ

敵機來襲状況ト我逸 雲戦斗状況

三 德之島

三月一日 〇七四五頃 北東ニ敵機ノ爆音ヲ聽ク 直チニ空襲警報ヲ發令ス

〇之ヨリ先 軍八〇七〇〇空襲警報下 令セラレタルモ 同放送ハ〇八三〇受領セリ

ハ〇七五〇グラマン四四一三 艦上戦斗機四十五機(第一波)侵入 旋回後飛行

場ヲ銃爆雲シ爾後一六〇〇迄ハ次ニ互リ港灣ノ船舶及附近部ヲ銃爆雲

ス 飛行場附近ノ高射機砲及岡前附近ノ北地區隊輕機関銃等必

中釋ヲ浴セ 戦果甚隆ニ 雲破田 我方ノ損害主ナルモノ戦死三 戦傷二ニ

二 大島 本島

三月一日 〇七三五一 一五三〇ノ間 四波延ニ三九機未襲 主攻妻目標船舶ニシテ

名瀬古仁屋等ヲ一部ヲ以テ銃爆雲ス

戦果ナシ 我方ノ損害 陸軍病院ノ二棟倒壊 戦死四 戦傷七 汽船沈没四

(カタタカ第六品船團)

三 喜界島

〇八二〇第一波一四機北方ヨリ侵入 早町港ヲ銃爆雲 一五〇五一一五三五ノ間 二波

(五八機)ニ互リ海軍飛行場ヲ目標ニ銃爆雲ス 海軍高角砲逸雲 陸

一機 雲破一機 我方機帆船一沈没ス

四 沖永良部島

〇七五〇一 一六二五ノ間 延ニ五機ニ波ニ互リ未襲 知名港ノ海軍船舶及同部

落ヲ銃爆雲ス

戦果雲破一 我方ノ損害 戦死四 戦傷四 機帆船二沈没

五 敵機未襲状況等附表第一如シ

四 敵機ノ機種及攻

1. 機種種 グラマンF四F一三艦上戦闘機ト判断セラル
2. 攻雷法 急降下攻雷ヲ行フハ前例ト皮リナシ 攻雷時ニ二機乃至三機ノ警戒機ヲ
 帶空セシメテ警戒及戦果ノ偵察ニ任ジアリタルモノノ如シ
- 五 戦訓並ニ將來参考トナルベキ事項

1. 偽施設及偽飛行機ハ敵ノ飛行場全段下降ノ四口ヲ吸收シ其ノ効果大ナリ
 而シテ同一偽飛行機ノ配置ニ於テモ滑走路内ニ配列セルモノハ吸收率少ク
 ク掩体内ノ偽飛行機及森林ヨリ半ハ暴露セルモノハ吸收率大ナリ
2. 飛行場附近ニ近接セル著明ナル森林又滑走路ト誘導路ノ接合点並ニ十字
 路等ニ對シテハ第一連ヨリ被彈ヲ蒙レリ斯カル地形地物ニ接近シテ建物ヲ
 建テ飛行機ヲ置キ又ハ部隊ヲ位置セシムル等ハ特ニ注意ヲ要ス
3. 棧橋附近及飛行場附近ノ部落ハ特ニ集中彈ヲ蒙レリ
4. 数夜トナリ長時間ニ互リ反復未襲セル場合ハ對空火器ハ敵ヲシテ発見シ得カラ
 シムル為努力メテ同一陣地ヨリ射撃セザル若意ヲ必要トス 是レガ為數個ノ予備陣
 地ヲ準備シ未襲ノ間隙ヲ利用シテ屢々陣地ヲ更換スルヲ要ス
 尚又偽陣地ノ必要ナルハ多言ヲ要セズ

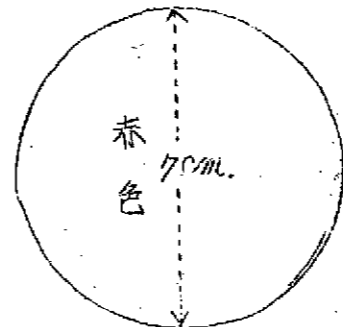
創意工夫以テ偽跡ニ努ムルコト必要ナリ

6. 發煙筒ヲ各船ニ携行セシメ敵機ヲ受クルヤ發煙シ發火炎上セシ如ク敵ヲ偽
 瞞シ又為シ得レバ煙幕ヲ展張セバ効果更ニ大ナリトス
 7. 住民ニシテ屢次ノ空襲ニ押レ飛行機未ルモ遮蔽セザルモノ敵機在空中セザ
 ルニ待避ヲ續ケ活動ヲナサルモノ或ハ敵機在空中荷物ヲ運搬シ右往左往ス
 ルモノ等敵ノ攻撃目標ニナル虞アルモノアリ
 8. 今次空襲ニ依リ火災ヲ生ジタル民家ハ曳光彈ニ依ルモノ多シ 初期防火ニ
 對スル精神的訓練ヲ殊ニ必要トス
 9. 曳光彈ノ効率ハ六ナリ重機関銃以下ノ對空火器ニ使用スルヲ得バ墜率ト昂
 上スルナラン(現在曳光彈ノ支給ナシ)
 10. 後方謀略宣傳ノ為散夜セシ左ノ如キ傳單ヲ拾得セリ(次頁ニ記載)
- 六 我方ノ損害
1. 飛行場被釋狀況附圖第一如シ
 2. 人馬ノ死傷附表第二如シ
 3. 地方側ノ損害附表第三如シ

表

15.20m

紙
質
上



裏

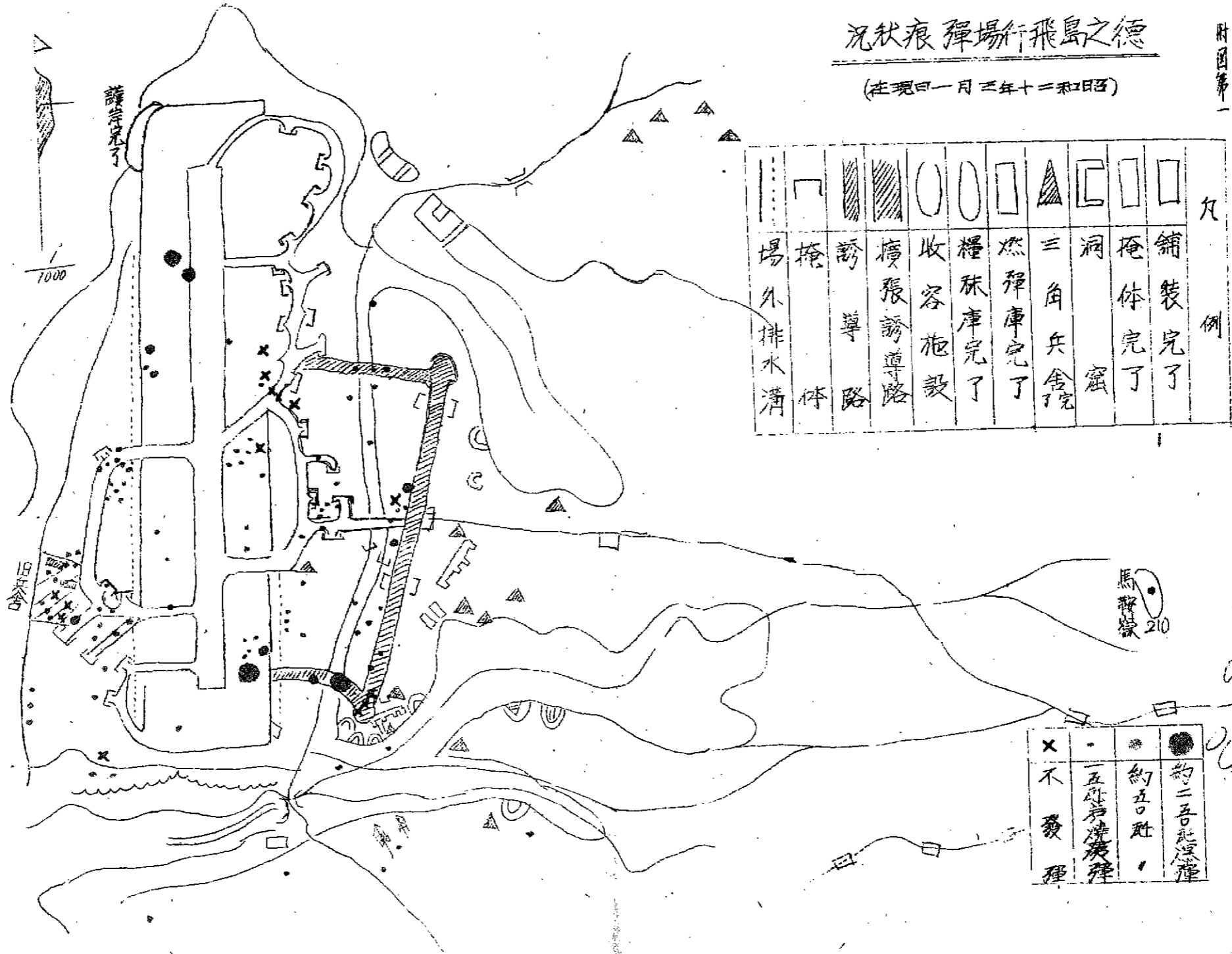
2016

國家を救へ

日本は國難に直面して居る
 諸君は今自分の名譽や希望を
 考へてゐる時ではない
 斯様な場合日本人として如何に
 すべきか大死するは本當に甲斐
 の無い事である日本は戦争に
 敗れてゐる大切な國家までも失つ
 てはならぬ 民族を保存し戦後
 はより善き日本の建設を援助せ
 よ

德島飛行場痕跡狀況

(昭和二十三年一月一日現在)



| | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-----|----|-------|---|
| ○ | ○ | □ | ▲ | □ | □ | □ | 丸 |
| 燃庫完了 | 糧秣庫完了 | 收容施設 | 擴張誘導路 | 誘導路 | 掩體 | 場外排水溝 | 例 |
| 三角兵舎院 | 洞窟 | 掩體完了 | 鋪裝完了 | | | | |

| | | |
|--------|---------|-----|
| ● | ○ | × |
| 約二百餘遺彈 | 約五百餘 | 不發彈 |
| | 一五餘發燒廢彈 | |

護岸完了

1000

司令部

馬鞍塚 210

附表第二

人馬死傷表

| 隊名 | 戰死 | | 戰傷 | | 行方不明 |
|---------|----|------|----|------|------|
| | 將校 | 下士官兵 | 將校 | 下士官兵 | |
| 大喜地區隊 | | 四 | | 二 | |
| 第一獨立整備隊 | | | 三 | 三 | 三 |
| 第六〇四船團 | 二 | 九 | 四 | 七 | 四 |
| 第五〇一船團 | | 三 | 一〇 | 九 | 二 |
| 海軍 | | 二 | 一 | 三 | 八 |
| 合計 | 二 | 十六 | 十五 | 十九 | 十六 |

備考、第六〇四船團、行方不明八、下士官一、兵四、トス

附表第三

地方側損害

| 計 | 行方不明 | 半 壞 | 全 壞 | 半 燒 | 全 燒 | 買 傷 | 死 亡 | 區 分 | |
|--------|-------------------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------------|--------|---------------|--------|---|
| | | | | | | | | 男 | 女 |
| 一 幅 | 六 | | | | | 五 | 三 | 九 | 人 |
| 九 | | | | | | 二 | 七 | 計 | |
| 一七 | | | | | | 七 | 一〇 | 家畜家屋 | |
| 秋 三 | | 八二 | 七一 | 八 | 四三六 | | | 櫛 | |
| | 行方不明 六 沖永良部島 三 | 德之島二 大島本島七 喜界島三 | 德之島三 大島本島六八 | 德之島五 喜界島三 | 德之島二六三 沖永良部島一七三 | 大島本島七 | 德之島四 大島本島六 | | 要 |